



Silver Dream



【アリスインワンダーランド】  
小さい頃、ああ  
いった御伽話を  
聞いたことがあった

話のオチは、不思議な事は  
すべて夢だったというものだ



今の俺は、なんとなく  
同じ事を経験している

...のような気がする



絶対夢だ……

絶対……



多分、あの夢だったんだって、いう  
オチを期待しているのだろうか



待てよ……

落ち着け俺……

最後に記憶に残っているのは  
万華屋であいつと酒を  
飲んでいた時なのだ



女装?!

何で女装なんだ?!

この「貴方の為に作りました★」  
つてもろ主張しているエプロンは  
何なんだ! マジでむかつく!

こんな姿を誰かに見られたら  
どうすんだよ!



そんなこと  
できるか!

てめえにそんな  
ことするか!

酒の飲み比べに負けたヤツが  
この服を着て置いて  
「お帰りなさい」ご主人様!  
「はんにする?」  
お風呂にする?  
それとも私?」と言え



下げろえよ!

息地を張れば張るほど  
頭を下げさせたくなんだよ  
お前……

あいつはムキになって  
本気で俺の服を脱がせろと叫び

抵抗して 絡み合った 卑句……



また

やっちまった……  
男っていうものか……



あれもいやこれもいやなんて副長様は俺がゴブドールかなにかと思ってる？ お前にとつて恋人同士が感情を深めるってことは時間の無駄だって事なんだろう？ わかったわかった

アイツとあんなことをするのは嫌いなわけじゃない…むしろ楽しんでる！  
でも、あいつの生意気な顔は見たくないんだ



この格好はまさかあのトラウマのような出来事のせいで、幻覚でも見ているのか？

記憶に全くないけど…いすれにせよ、あいつには絶対に見つかるわけにはいかない

そういえばアイツは…俺はまだ江原じんの家へ

ケイタイもタバコもない



おっっっ

誰かいるか？



じんのせいさん



珍しいな  
女装癖の人間がくるなんて

お——  
お——

誰だ？



猫?!



なんか...  
どこかで会ったこと  
あるような...



いや...こゝはとうして  
猫が話せるかと  
ついてむべきだろう

サッ





死んだ魚のような目に  
あのめちやくちやな銀髪…



アイツにそっくり  
じゃねーか！



ぐい

むかつく目つき以外は  
けっこうなイケメンじゃねえか

すっ



失礼なガキだな！

ハッ







しかし方法はないわけじゃない

あの人は多分知ってると思う

誰だ？

帽子を被ってる人

帽子被ってる人...



だから知らないって

おまえにとつて夢かもしれないけど  
我輩にとつてこの世界こそ現実だ



教えても見つからないと思っから

うんうん



いやな顔をして

「じゃあわけないだろ」と  
言いながら、  
けっこう優しいじゃないか

うんうん



ちっ

遅えな!

遅い?!

遅いと言えるか?!



フツ  
フツ  
フツ

おい、ちよっと待ってくれよ!



「こっちはこの衣装だぞ!

なぜ大人しく  
地面を歩かないんだ

高いところの方が  
視野が広いよ、バカ!

バカはお前だろう!  
俺は猫じゃねえ!



といつかあの帽子を被ってるやつって一体何者？

本当に元の世界に帰る方法知ってるの

うーん、無理難題を全て解決してくれる人だよ

とりあえず、あらゆる問題を解決してくれるんだ

もちろんお金は必要だな



お金のことなら心配しないで

本当に困ってるならあの人には気にしないよ

対価は金銭以外で払ってもいいし

かじこスルいお人よしか？



金……俺は金なんて持っていないんだが

そういう仕事って万事屋と同じじゃねえか



な……

さっきは「相性が悪い」と言ったけど

今はこんなに帰りたいと思うのはあの人に会いたいのからだろうか？





いや、  
今常識は  
通用しないんだって

だよ  
お前の服装は  
彼よりすこい

黙れ！



正直、俺たまにもこの  
場所が変だと思っよ

ほら



知り合い？

知ってるどころか  
あんな格好して何を  
やってるんだあいつ  
怪しい…



彼も天然パーマなんて  
おかしいだろう

おかしいだろ



渡したい物が  
あるんだ

どこを探ったお前…



待って 待って



それかよ！

ちもちも…という  
レアな髪型をしているのは  
我輩一人だけだと思ったのに  
つまんない

さっ

別に自慢するもん  
じゃないだろう

髪のことほまうい  
行ってくる



キモイ!!

「Wキノコ」だ!

キム  
キム  
これだ



おい!

勝手にしろ!  
せつかくこの俺が  
やるっていうのにな



簡単だ  
一口食べればいい  
頭から  
見た目は悪いが  
使えるぞ

食べるかよ!  
パンツから  
出したもの!



こんなデカイのどうやって  
持ち歩いてたんだ  
いったい何に使った?

なめるなよ  
肝心な時  
役立つよ

うんすんすん



俺は  
坂田銀時だ

そっか  
別れる前に  
名前教えてやるよ



うあー!

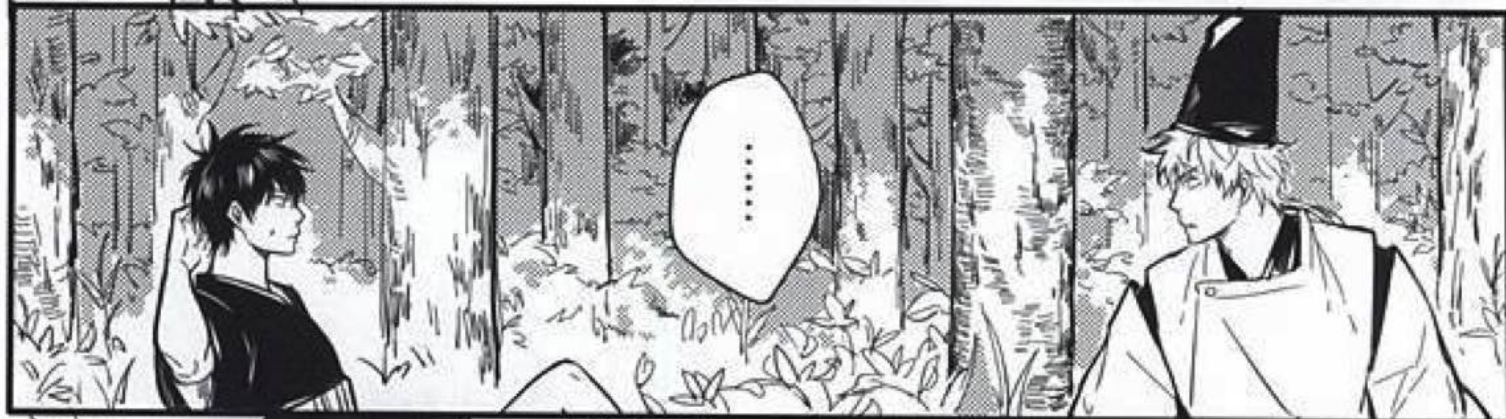


あいつのそばに戻っても

覚えていてくれよ



ドッ









なんだよ！  
いつも緊張感  
なんてないのは  
お前の方だろう  
一体どうなってるんだ？



お前さ、少しは緊張感を持てば

ぶっちゃけ  
今の状況はかなりヤバいぜ



まったく……

女王様だ！あの女王様！

お前がこの「世界」に足を踏み入れたと  
聞いて捕まえに来てるよ！



捕まえてどうするつもりだ？

パチッ

いいから早く要項を言え！

おい！  
なんだその座り方！  
けしからん！  
誘惑してんだらう！

……それはな  
もしお前が捕まえられたら、  
これからは空も見えない生活だ

…束縛、監禁、SM  
なんでもされるだらう  
あいつは気に入った者を  
監視するのが大好きだ  
とりあえず、束縛系の……

ト変態だ



女王様だよな？  
気に入ったって…  
オレの事？  
どういう事だ  
なんでよりによって俺なんだ



まだわかってないのか  
お前だからだらう



これ以上の事はもう話せないから  
なにせお前は誰にも聞らない

こいつ……なんか  
急に優しくなってきた……

え……俺だから？



飲み

逃げる方法は一つしかないんだ

これ



戦争はもうすぐ始まる

戦争？

しかし今はもう逃げ場がないんだ

やっぱりおかし  
こいつがこんな  
セリフを平然と  
言うなんて





これって血じゃないか!!

ん...

お茶?...なんてじゃないよな!

何これ.....

「から開発してきたお茶だよ  
飲めば体に激変が起る  
この戦争から逃れられるんだ



そのせいだよ  
血だから  
毎回砂糖を三匁も  
入れるよ  
血の匂いはしないから  
安心してよ



あああああああああああ  
何やってんだてめえ!

マヨネーズかぶっても  
飲まないからな!

安心なんてクソか!

ガキヤン





ああ…待ってたよ

え？まっ…  
あいつが女王様？

どう見ても  
オカマ軍団  
じゃねえ



ずっと探してたんだよ！

……土方？

ち、畜生！  
こんな可愛い服を着てやがる！  
お前ら何やってたんだ？  
銀ちゃんは許さないからな！  
絶対！

お前、俺が誰のためにこんな恰好を  
してると思ってるんだ！

お前の行方を把握するためにこの  
化け物どものボスになったのに！

結局そのクソ野郎に先手を打たれた！

早く！  
俺と一緒に帰れ！

おお…三人目か  
今はもう驚きも  
しないな



待て  
それでいつまで  
連れていくつもりか  
まだ俺に聞いてないよね  
戦うつもりじゃないのか？

土方はここにいるんだから  
連れて行くのは当然だろう  
もともと俺のものだし

いや、体を束縛するだけでは  
心は得られないよ  
だからお前には譲らねえ

勝手なこと言う

これはどう状況だど…  
他の命に争いが  
始まっているんだ…







何やってんだ!  
なぜこんなに小さくなった?!

ネ!ネ!ネ!ネ!ネ!ネ!ネ!ネ!ネ!?!



決着を付けよう

こいつを賭けて

これより この碁盤は戦争となる

は?!

碁を打つ気?  
勝手に人を賭けもんにすんな!  
元の姿に戻らせてくれ!



好きだという  
気持ちは誰にも  
譲らないからな

望むところだ  
お前はおれ、  
おれがお前だと  
言っても



お前ら……どういう意味だ……

なんかもっとおかしな方向に展開してしまった！

うっ？！









……  
白夜叉——



勝手にこんな場所に來たら  
命は保証できないよ

守るべき人はお前か？



なるほど

カラスと一緒に暮らす野良猫

自分自身と戦う自我

それに修羅場の……白夜又

俺は多分……  
あいつの世界に入り込んでしまった



お前は一体何者だ？



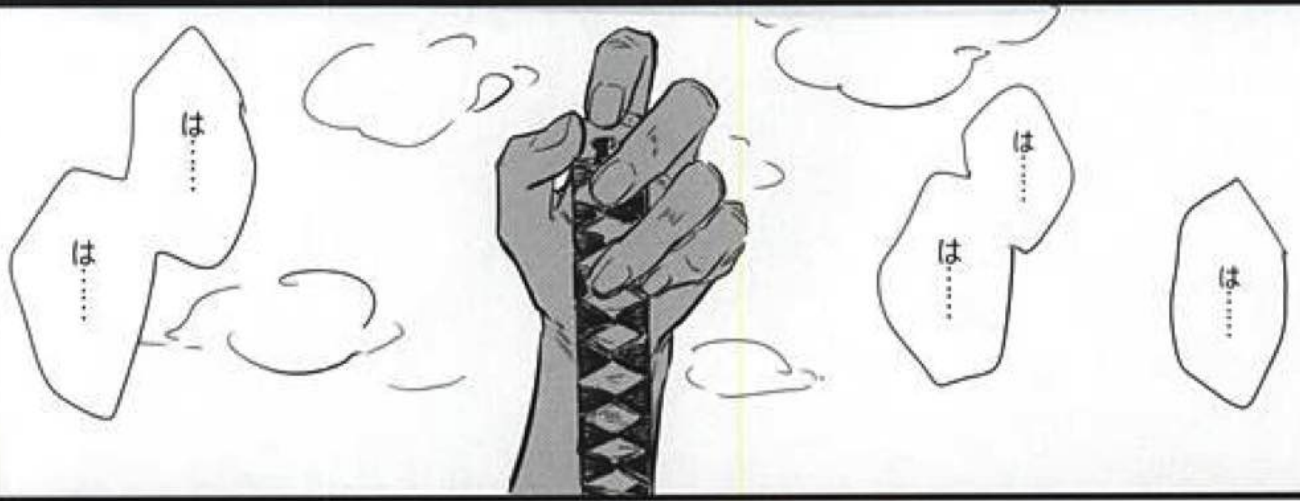
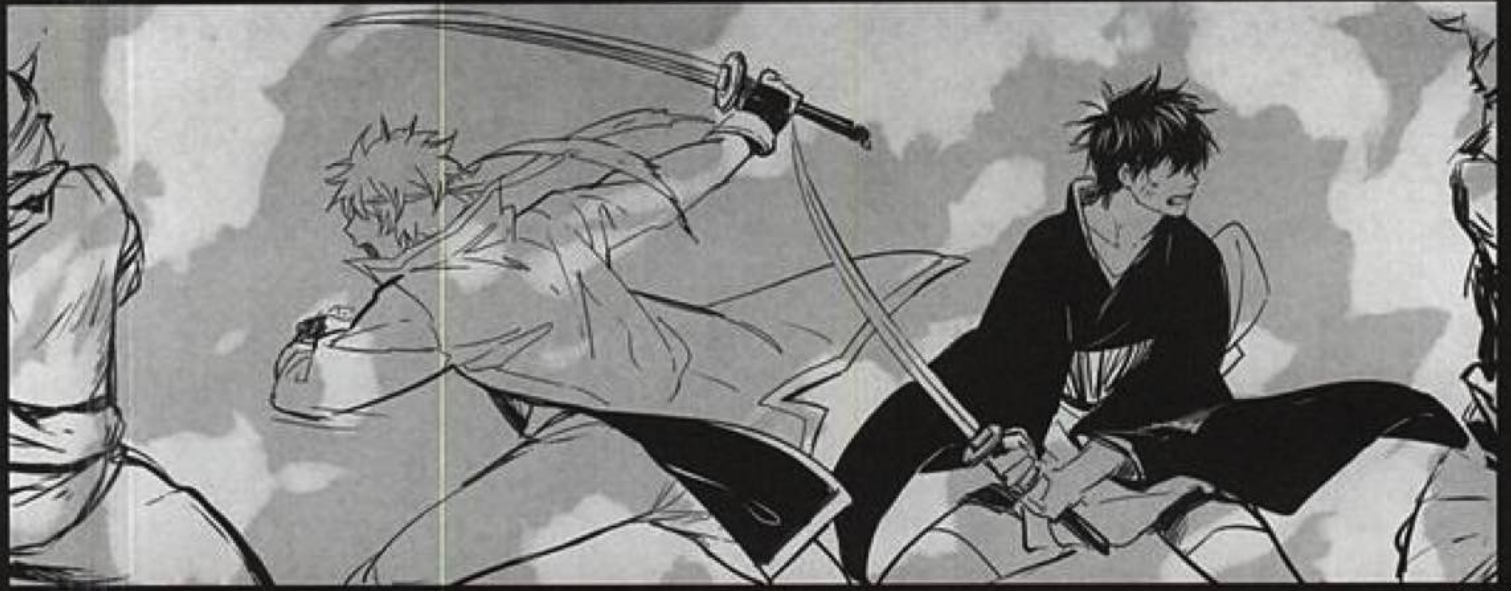
残念だな  
俺はお前に守られるほど  
弱くないよ

それに誰を守るかも  
わかってないのに  
剣を振るうなんて  
お前らしくないな









この戦争  
終わる気がしないな

俺はさ  
「守りたいことがある」  
という一心で耐えてきた

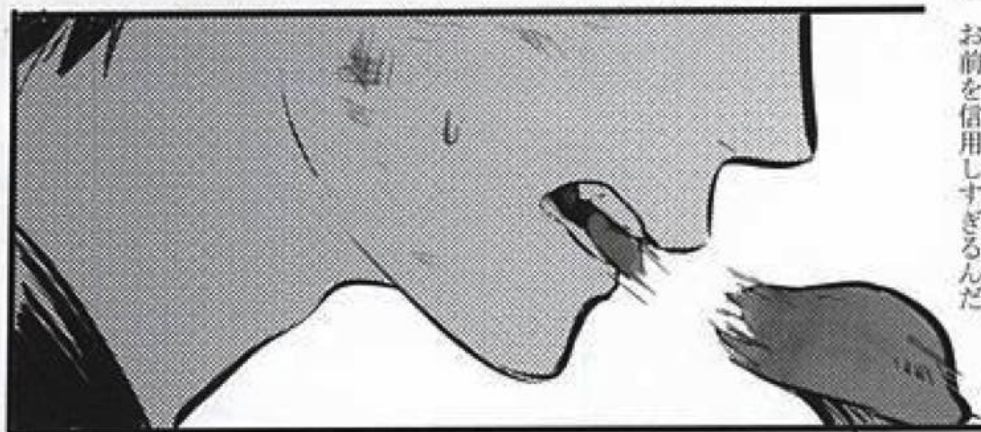
未来には犬猿の仲の敵同士が  
待つてる事を知った今  
何かをやるのも意味が  
ないわけではないな

そうだな  
もし敵に剣で貫かれた  
その一瞬に夢から自覚めて  
お前のその人を喰うような  
笑顔が目の前にいたら  
今の全ての経験も  
悪くないと思えるかな



今はもう考える  
余裕がない

やっぱり俺は お前を信用しすぎるんだ











始めから理解できる状況じゃないだろう

何のいたずらだ……

いやいやいや……  
こうなってしまうのは  
お前のせいだよ



じゃ、もしかして  
このすべては  
俺の妄想？

あ……ありえない



この際は――

一人でさえうんざりだ  
三人は堪えられるはずがない！



逃げるしかない!

おい、待って!



答えも  
出さないまま  
逃げるか!

俺、何も知らないんだ!

ただ帰りたいだけだ  
最初からこのトラブル発生機を  
信用しなければよかったのに!

おい! さっきのキス  
もう一度やってくれ!

キス? まじで? キスした  
許さない!

いつもそうだ

この天然パーマと関わりと  
ロクな事はひとつもない!









どうした？  
急に会いにくるなんて  
今夜はいつもの居酒屋で  
会って約束したじゃない  
今時間はまだ早いよ

だから約束してねえって！  
いや…たまには  
飲む約束はするけど  
今の状況を考えてくれ！

どんな状況？



また来たあああああ！  
今度はウサミミかあああ！



おやおや  
面白い展開だな

もう一人出てきやがった

やばいな  
今俺、やる気まんまん

しまった……



誰だ、お前ら、  
皆同じ顔と髪型していて  
三つ子か？ 気持ち悪い

人を言う資格あるかよ！  
鏡をしろ！ こんなクソな  
ウサミミって悪趣味だな！

どう考えても、俺の方がマシだ  
お前らこそ仮装パーティーでも  
いくつもりか

こいつ生意気だね



勝手にしろ

俺のターゲットは  
あの黒髪だけだ



このお兄さん  
どこから来たんだ  
土方は俺のものだけだ

知るか！  
彼はタイムマシンを  
使ってまで俺に会いに  
来てたんだぞ！

いいか  
土方は誰のものでもない  
俺たちはただ互いに好きなかっただけだ

真面目な顔で  
バカなことを言うね  
俺には何も言っていないけど  
俺のことが大好きだって  
気持ちは伝わってるよ

いや、そりゃ俺のほうだろう  
今夜は旅館に飲みに行くから、  
お前らさっさと失せろ！

そっちこそ失せろよ！

一体……



こうして、俺のために争いあうなんて

あのチャライ馬鹿は  
するわけがないはずだ



それとも、俺は無意識に  
こういう展開を期待してるのか

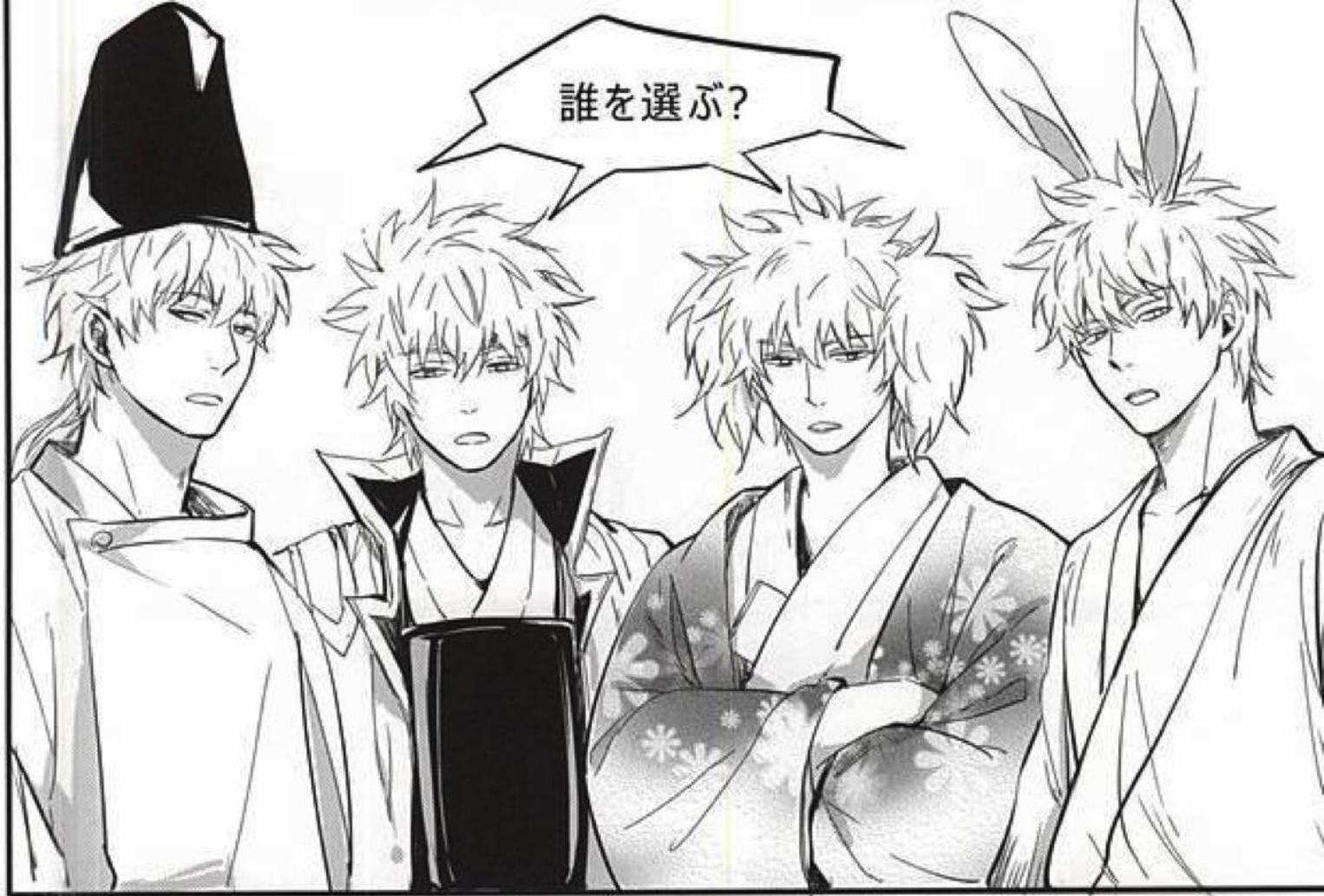
こんなに大事にされるのを……  
期待してるのか？

もういい！自分と話すのが  
どうしてこんなに疲れるんだ！


終わりのない争いは  
もうやめようか

だったら、土方に任せるしかない





誰を選ぶ？



逃げても  
今度はまた同じ顔を  
してる人に会うだろう



は……

同じ人なのに、  
選ばなければならぬって





やっと分かったよ  
これはお前の世界ではなく  
俺の妄想でもない

俺ら一人しかない世界だ  
万事屋もないし  
真選組副長もない



ここで楽しいことを  
したほうがお得だろう

珍しいじゃないか

だから目覚める前に





えっ?!



どっだっ



手に入れられるなら 全てが欲しい



選択するなどできないし  
このまま走り続けるのも  
そろそろ疲れてきた

もしお前だったら  
一緒に走りたいけど  
時間をつぶすのも悪くはない

[Empty rectangular box]

了解

ふん——





何……？

そう言うのなら  
それでよい



そう言わないでくれ  
俺らは皆同じだろう  
皆が欲しいと言ったのは土方だよ  
だから皆で力を尽くして満足させてやろう



こんなことだとわかったら  
最初から戦場に留まればいいのに  
そしたら独り占めできるしな



……まだ、この芝居も



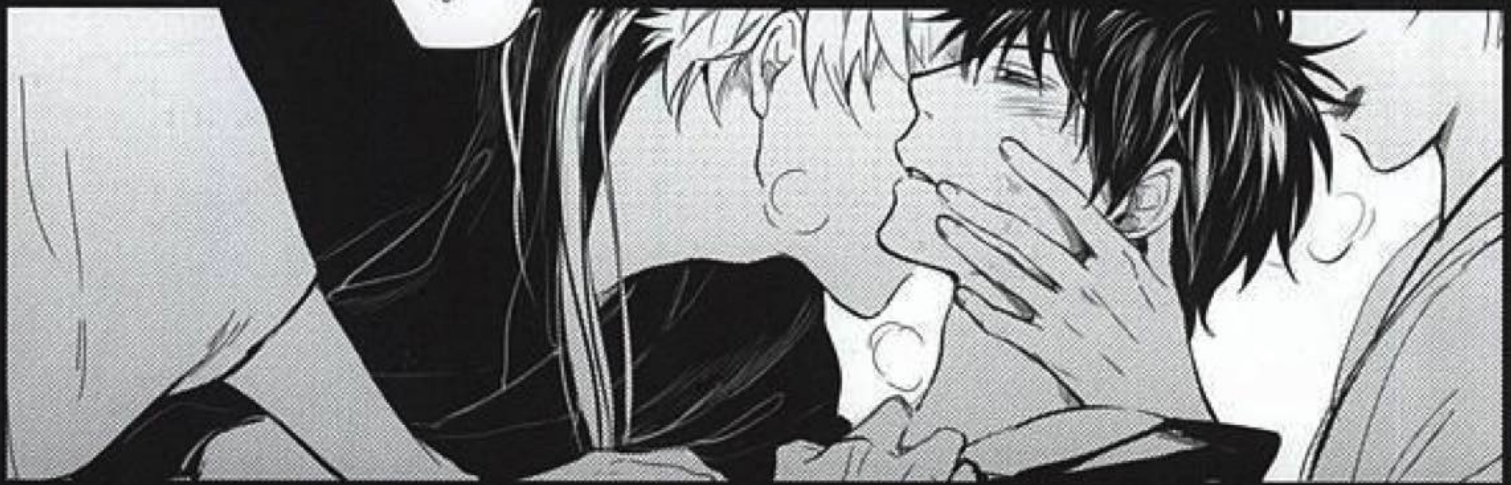
俺はこういう人だ

この事において、俺はリードできないけど、  
たまには必要とされたいんだ  
副長の考えがわかった後  
勝手にするのも大丈夫じゃない



苦労した後  
お楽しみも倍になるかな

遊ぼう



ああ……やっぱりそうか  
出会った時からもう逃げられないんだ



にゃん



超質が悪い……

んんんんん……

# ああああああ!!!



なんで目覚めた!



くっそー！

いいところに来たのに！

「ドラマのヤマにCMが入って

ちやちやしても待ち続けて

続きがくるとおもいきや

まさかのエンディングテーマだ

より悔しいんじゃないか！


次の予告さえない！

カットもない！






最後まで着てもらえなかったな



そんなプレイに  
こだわってるわけじゃないけど……  
実は俺の趣味でもない

でも長い間ずっと自分だけが熱くなるから  
そっちからの情熱も感じたいなって  
積極的じゃなくても  
反応ぐらいは欲しいし




いつも「早く終わらせろ」  
「勝手なことするな」  
「グズグズしてて面倒くさい」  
だけを言うし

楽しんでるかどうかは分からない



人の気持ちを当たってるって 面倒くさいな



あぁあぁ面倒くせえ！  
いつそう恋愛脳になったら楽なの

ぽり



まあいいが……



最低つてのは誰の事だ  
俺のことを言う資格はないよ



こうして彼を抱きしめて  
寝たら夢が続いてくれるかな……  
もっとすいいものにしてよるか

その一方  
土方の夢は…

セーラ服!

裸エプロン!

バニーガール!

猫目のメイド!

看護師!

花魁!

いわゆる天国じゃないか!

わははははは!

死にてえ!!!







Gintama Fanbook  
Gintoki x Hijikata